

当院における緊急帝王切開について

○緊急帝王切開とは

・常位胎盤早期剥離（分娩前に胎盤がはがれること）や胎児機能不全（胎児の徐脈など）といった、すぐにお産にした方がいい状況にもかかわらず、経膣分娩するには時間がかかると判断されたときに行います。お母さんや赤ちゃんの状況により、緊急性が高い場合があります。

・経膣分娩を目指していても分娩進行が見られないときに、分娩の見込みや感染リスクなどを考慮して行うこともあります。

○超緊急帝王切開

・当院ではグレード A から C まで緊急度が分かれており、中でも緊急度の最も高いグレード A の超緊急帝王切開は手術決定から胎児娩出まで 30 分以内を目指しています。

・実際に 2020.1.1～2022.12.31 までの 3 年間で 61 件のグレード A 緊急帝王切開が行われ、平均 17.4 分で児娩出となっています。営業時間内に限ると 14.0 分で児娩出しており、営業時間外でも 20.1 分で児娩出できています。95%（61 例中 58 例）が 30 分以内に児娩出となっています。

・帝王切開は全例手術室で麻酔科による麻酔管理の下で行いますが、普段から産科・小児科・麻酔科・手術室と緊密な連携をとることで、速やかな児娩出が可能となっています。